

《厄年とは》

MicroSoft Edgeの「copilot search」の検索結果より

厄年は、人生の中で特に悪いことが起こりやすい年齢を指します。日本の伝統的な考え方に基づいており、古くから存在する風習です。厄年にあたる人は、健康や仕事、恋愛などにおいて不運が訪れる可能性が高いとされています。 * 厄年の当該年齢は別表を参照してください。



《厄年の過ごし方》

厄年を迎える際には、厄除けの祈願をすることが一般的です。神社に行き、自分の厄年を伝えてお祓いをしてもらうことで、運気が上がると言われていています。また、厄年には特に注意して行動し、健康に気をつけた生活を心がけることが大切です。

厄年は単なる迷信ではなく、人生の変化点におけるリスク認識の知恵とも言えます。厄年を意識することで、普段の生活を見直し、健康や人間関係に配慮する良い機会にもなります。自分自身を守るためにできることを考え、前向きに過ごしていくことが重要です。



令和8年の大厄に該当するのは

男性：42歳 女性：33歳 の方々です。

その他の本厄は、男性：25歳、女性：19歳・37歳です。

* 年齢は数え年です。詳しくは別表「令和8年度厄年早見表」を参考にしてください

大富地区では従来、42歳（数え年）の「厄年払」を行う際、該当する年齢（学年）の方でグループを結成し、お祓い等の一連の行事を行っていました。

しかし近年、地元を離れる方や転入された方が多くなり、同級生が集まり数年前から準備をして、厄年を迎えることが困難になってきました。

そこで、今年から「厄年祓」を、大晦日に本殿で行われる「大祓神事」の際に令和8年に厄年を迎える方々にお集まりいただき、下記のように執り行う事にしました。

日 時： 令和7年12月31日
22時より

祈祷料： 5,000円

* 30分前までに社務所にて受付をしてください。

* 服装は平服で構いません

ご家族や友人で地元を離れていて、年末年始に帰省される方があれば、懐かしい同級生や友達に会う機会でもありますので、是非知らせてあげてください。

なお当日ご都合の悪い方でも、ご希望の日時での個別のご祈祷も、通常通り行いますので、神社にお問い合わせください。

連絡先： 白山神社社務所 TEL 0572-55-3771

曜日は問わず、9時～12時、13時～15時での対応をしております。

また、ご不明な点があれば、本人以外でも、気軽にお電話ください。

初午祭の「餅投げ」の参加について

初午祭は3月8日に行われる大富区を挙げての神事です。

この時には、各町内会とともに大厄・還暦・古稀の方々にも「餅投げ」に参加して頂くことが通例となっています。

詳細は改めて別途お知らせをいたしますので、是非ご参加ください。



令和 8 年度厄年早見表

*年齢はすべて数え年です。誕生年を参考にしてください。

女性	前厄	本厄	後厄	前厄	本厄	後厄	前厄	本厄	後厄
西暦	2009年	2008年	2007年	1995年	1994年	1993年	1991年	1990	1989
和暦	平成21年	平成20年	平成19年	平成7年	平成6年	平成5年	平成3年	平成2年	昭和64年 平成元年
数え年	18歳	19歳	20歳	32歳	33歳	34歳	36歳	37歳	38歳
干支	うし	ねずみ	いのしし	いのしし	いぬ	とり	ひつじ	うま	へび

男性	前厄	本厄	後厄	前厄	本厄	後厄
西暦	2003年	2002年	2001年	1986年	1985年	1984年
和暦	平成15年	平成14年	平成13年	昭和61年	昭和60年	昭和59年
数え年	24歳	25歳	26歳	41歳	42歳	43歳
干支	ひつじ	うま	へび	とら	うし	ねずみ

◎特に、男性の42歳と女性の33歳は「大厄」と呼ばれ 特に注意が必要とされています。
厄年は「前厄」「本厄」「後厄」として、前後1年ずつも注意が必要とされます。

*早生まれ（1月～3月生まれ）の方は、学年で対応することが一般的となっています。